

への地
試制
大学
身者
の在
定め
療に
在学
もあ
が免
学教
学者
国公
学が
枠が
きい
員の
で、
中87
中82
00
9人
人中

医師不足への対策拡大

地域枠とは医師不足の地域への人材供給を目的とした入試制度。医学部定員のうち、大学のある都道府県の高校出身者や隣接府県など特定地域の在住者への募集枠を個別に定め、卒業後に指定地域で医療に従事してもらう仕組み。在学中の奨学金（修学資金）もあり、要件を満たせば返還が免除される。文部科学省医学教育課によると、24年度入学者の入試では医学科のある国公私立大82大学のうち71大学が導入し、計1808人の枠が設けられた。

医師が少ない地方は枠が大きい。北海道の札幌医科大学は定員の約8割（110人中90人）で、福島県立医科大学（130人中87人）や弘前大（132人中82人）は6割台、宮崎大（110人中40人）、山口大（111人中45人）、鳥取大（110人中37人）、和歌山県立医科大学（100人中36人）などは3割、4割が地域枠、地域の医師確保のための入試枠だ。私立でも東北医科薬科大（100人中55人）や川崎医大（126人中51人）は割合が高い。

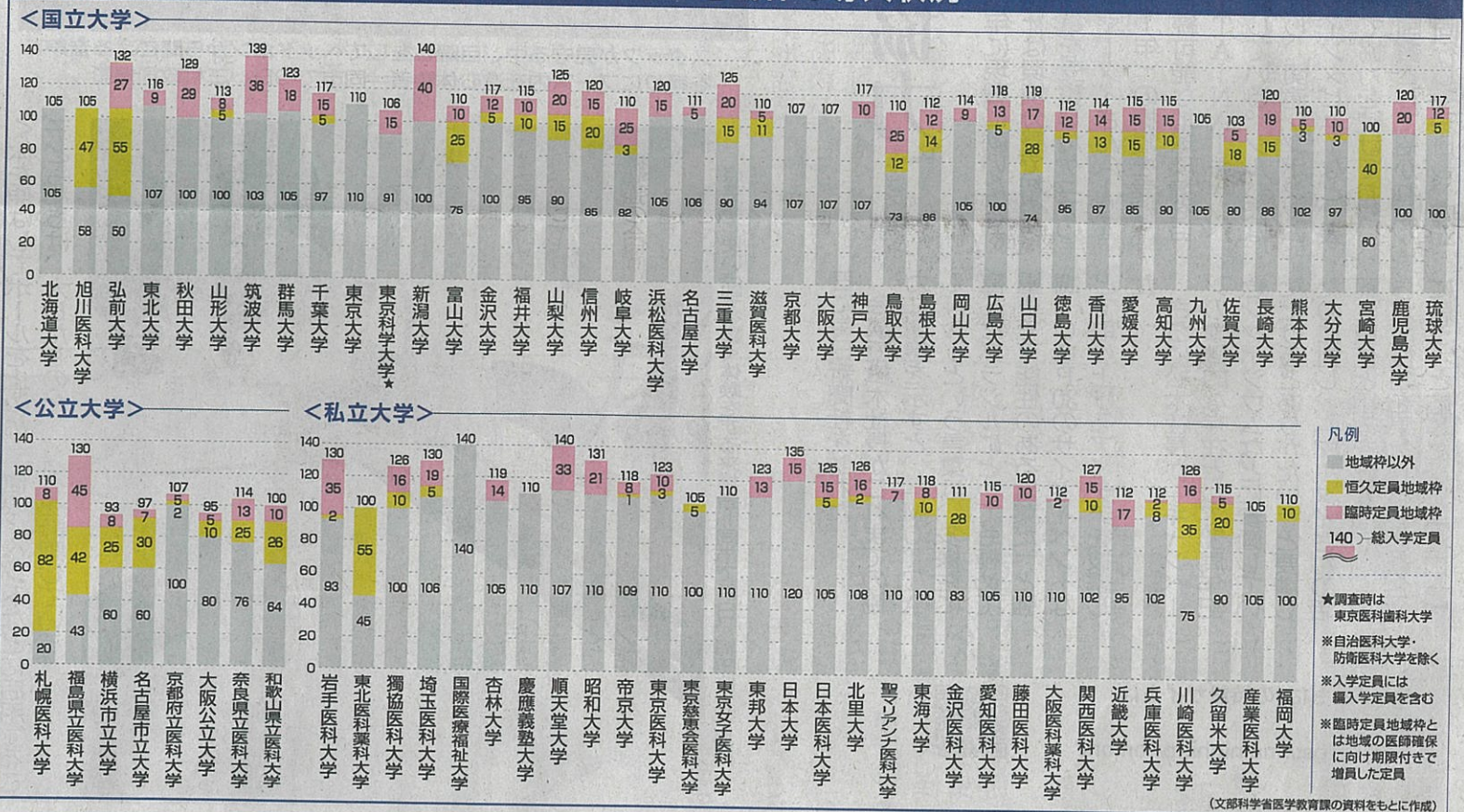
地域枠のもう一つの特徴は

卒業後に地方で勤務／奨学金も充実

入学後から6年間の学生生活を支援する奨学金があることだ。卒業後に指定地域で9年程度勤務すれば返還が免除される。神戸大医学部医学科では、卒業後に兵庫県が指定する医師不足地域の公立病院などに勤務する意思がある学生へ1年次に年233万5800円、2〜6年次に年183万5800円、6年間で計151万4800円が貸与される。卒業後に県の正規職員に採用され、医師として県のキャリア形成プログラムに沿って9年間勤務すれば返還は免除される。

学生の負担軽減に取り組む私立大もある。国からの補助が限られる私立は6年間で1850万〜4700万円の費用がかかる。私立で学費が最も安い国際医療福祉大（千葉）は17年の開設当初から27倍を超える高倍率になっていて、関西医大（大阪）は23年度の入学から6年間の学費を670万円引き下げ2100万円としたことで志願倍率が31・9倍に跳ね上がった。国公立は6年間で360万円程度と一律に設定されている。

2024年度 地域枠の導入状況



広告 企画・制作／毎日新聞社営業総本部

関西医科大学

学費の大幅減額により医療人への夢を応援
早期の見学型臨床実習や実習環境により
世界に通用する医師に

関西医科大学は慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きることを体現した医療人を育成しています。2023年度から6年間の学費が2,100万円（670万円減額）となり、私立医科大学では3番目に低額となりました。門戸を広く、多様なバックグラウンドを持つ受験生を応援します。

令和6年度からの新カリキュラムでは、医学へのモチベーションをより高めるため、入学当初から継続的に臨床現場に接する見学型臨床実習「白衣の日」を開始。最先端のシミュレーション機器もそろえており、臨床現場と同様の機器を用いた幅広い分野の技術を修得できます。教育カリキュラムは世界基準に適合しており、国内・海外で活躍する良医を育成する環境が整っています。看護学部・リハビリテーション学部との合同授業を通し、職種の垣根を越えたチーム医療を学ぶことができるのも本学の特長です。

オープンキャンパス 2025年7月20日（日）／8月2日（土）

関西医科大学 入試センター
〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1
TEL: 072-804-0101（代）



京都府立医科大学

世界トップレベルの医学を地域へ

京都府立医科大学は、1872年に粟田口の青蓮院に設立された療病院での医師養成を起源として、150年以上の歴史を持ちます。また看護学科も1889年に開学した京都府医学校附属産婆教習所に起源をもちます。歴史と伝統に磨かれ形となった「世界トップレベルの医学を地域へ」を理念として、国際的視野に立って知を創造し各分野におけるリーダー育成を行うとともに、その質の高い成果を国内外はもとより地域にも還元してきました。医学科では、令和8年度より全国の高校生を対象とした学校推薦型選抜（全国一般枠）を予定しており、医学分野のリーダーとなる素養をもつ学生をさらに求めています。詳細は今後HPで発表していきます。

オープン キャンパス 看護学科 2025年8月5日（火）
医学科 2025年8月6日（水）

京都府立医科大学 教育支援課入試係
〒602-8566
京都市上京区河原町通広小路の梶井町465番地
TEL: 075-251-5111（代表）



滋賀医科大学

地域に支えられ、地域に貢献し、
世界に羽ばたく大学

滋賀医科大学は、1974年に一県一医科大学の構想に基づき設立され、2024年に開学50周年を迎え、これまでの半世紀、地域に支えられ、地域医療に貢献しながら一歩一歩あゆみを進めてまいりました。

本学医学部医学科では、地域医療のプロフェッショナルを養成する「地域医療重点コース」を開設し、「地域医療枠（一般選抜）」「地元医療枠（学校推薦型選抜）」として選抜され入学した学生が在籍しています。

また、医学部看護学科においても、2024年に滋賀県及び県内の看護系学科を持つ2大学（滋賀県立大学、聖泉大学）と連携した看護地域枠制度を開始し、地域で活躍する看護職の養成に取り組んでいます。本学では、地域の医学・医療を担い、健康な社会づくりに貢献しようとする意欲ある皆さんの入学をお待ちしています。

オープン キャンパス 看護学科 2025年8月20日（水）
医学科 2025年8月21日（木）／8月22日（金）

国立大学法人 滋賀医科大学
学務課入試室入学試験係
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
TEL: 077-548-2071
Mail: hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp



兵庫医科大学

2026年9月
兵庫医科大学病院 新病院棟開院（予定）
実習環境がさらに充実

兵庫医科大学は、最先端の設備を備えた施設で、最新の医学・医療を学べる環境を整えています。

実習拠点は、26年9月に新たな病院棟が誕生する兵庫医科大学病院です。【「ひと」が主役の未来型スマート病院へ】というコンセプトのもと、教育・研究・診療のすべてが進化を遂げた環境で学ぶことができます。

医・薬・看護・リハビリテーションの4学部を擁する本学では、各学部の垣根を超えて学びを深めるIPE（多職種連携教育）に力を入れており、実際に患者さんを受け持ち、IPW（多職種連携協働）を実践する多職種連携総合臨床実習など先進的な実習を展開しています。将来を見据えた実践的な教育で、質の高い医療を提供するプロフェッショナルを育成します。進化を遂げた実習環境と、高度なカリキュラムで熱い志を持つ学生のみなさんの学びを後押しします。

オープンキャンパス 2025年8月9日（土）／8月10日（日）

兵庫医科大学
西宮キャンパス 入試センター
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL: 0798-45-6162

